

～北海道の自殺対策について～

発行：北海道地域自殺対策推進センター
(北海道立精神保健福祉センター内)

※『Andante: アンダンテ』とは

「ゆっくりと歩くくらいの速さで」という意味の音楽用語です。皆さんは最近、ゆっくりと歩いてみたことはありますか？ ゆっくりと自分にとって適度なスピードで歩いているとき、私達の視野はいつもよりぐっと広がり、忙しく過ごす中では見過ごしがちなものに気が付くことがあります。月に一度「Andante」が届くたびに、皆さんがふっと一息つき、少しの時間だけでもゆっくり歩くことを思い出していただけたらと考えています。

— 目 次 —

【1】北海道における自殺の現状

- ◇ 平成 28 年 4 月末の自殺者数(暫定値)[警察庁発表]
- ◇ 平成 27 年中における北海道の男女別・年齢階級別自殺者数(確定値)[警察庁発表]

【2】自殺について知ろう

- ### ◇ 妊産婦と自殺

【3】お知らせ

- ◇ こころの電話相談
- ◇ HP 及び携帯 HP をご覧ください

【4】編集後記

【1】北海道における自殺の現状

- ◇平成 28 年 4 月末の自殺者数(暫定値)[警察庁発表]◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

警察庁より平成 28 年 4 月末の月別自殺者数の暫定値が発表されました。

平成 28 年 4 月の北海道の自殺者数は 99 人でした。また、全国の自殺者数は 1,849 人、そのうち男性は 1,279 人、女性は 570 人でした。

以下に、北海道および全国の前月比と前年同月比の自殺者数を示します。

1.平成 28 年 4 月末と平成 28 年 3 月末の月別自殺者数の比較 (単位:人)

H28 年 4 月<北海道 99 人、全国 1,849 人、全国(男性) 1,279 人、全国(女性) 570 人>

H28 年 3 月<北海道 73 人、全国 2,087 人、全国(男性) 1,448 人、全国(女性) 639 人>

前 月 比<北海道 +26 人、全国 -238 人、全国(男性) -169 人、全国(女性) -69 人>

平成 28 年 4 月の自殺者数は、前月比では北海道は増加、全国・全国男性・全国女性は減少しました。特に北海道の+26 人は都道府県中最大の増加でしたので、気になるところです。都道府県別では、自殺者数が増加したのは 13、減少したのは 32、変化なしは 2 でした。

2. 平成 28 年 4 月末と平成 27 年 4 月末の月別自殺者数の比較 (単位:人)

H28 年 4 月<北海道 99 人、全国 1,849 人、全国(男性) 1,279 人、全国(女性) 570 人>

H27 年 4 月<北海道 103 人、全国 2,094 人、全国(男性) 1,477 人、全国(女性) 617 人>

前 年 比 <北海道 -4 人、全国 -245 人、全国(男性) -198 人、全国(女性) -47 人>

前年同月比では、北海道・全国・全国男性・全国女性のすべてにおいて減少しました。

また、都道府県別でみると、自殺者数が増加したのは 9、減少したのは 36、増減なしは 2 でした。

各年 4 月の状況をみると、全国は順調に自殺者数が減少していますが、北海道は平成 25 年以後、自殺者数が横ばいといえる状態です。

◇平成 27 年中における北海道の男女別・年齢階級別自殺者数(確定値)[警察庁発表]◇◇

今月は先月に引き続き、『平成 27 年中の自殺者数』(確定値)より、男女別自殺者数および年齢階級別自殺者数についてご報告させていただきます。

以下に全国と北海道の男女別自殺者数および年齢階級別自殺者数をまとめます。

1.平成 27 年北海道および全国の男女別自殺者数と構成比

北海道<総数 1,147 人、男性 767 人(66.9%)、女性 380 人(33.1%)>

全 国<総数 24,025 人、男性 16,681 人(69.4%)、女性 7,344 人(30.6%)>

※ ()内は性別による構成比

一般に、日本における自殺者数の男女比は 7:3 と言われていますが、平成 27 年の北海道における男女比はほぼ 2:1 でした。全国の値と比較すると、女性の自殺の割合がやや高かったと言えます。

性別ごとの年代別自殺者数を見ると、増加率が高いのは19歳以下の男性+20.8%、20代女性の+53.8%、70代女性の+15.3%で、逆に大きく減少したのは、19歳以下の女性-28.6%、50代男性-14.7%、60代男性-17.2%でした。近年の自殺対策が功を奏していると見ることができる一方で、若年層、高齢者の自殺対策にもさらに力を入れる必要があるといえるのではないのでしょうか。

『平成 27 年中における自殺の状況』、内閣府自殺対策推進室・警察庁生活安全局生活安全企画課、<http://www8.cao.go.jp/jisatsutaisaku/toukei/h27.html>

[illegible]

4月24日付の毎日新聞に、日本産科婦人科学会において妊産婦と自殺に関する調査の発表があったという記事が掲載されました。それによると、順天堂大学の竹田省教授と東京都監察医務院が調査したところ、東京23区内において、2005年から2014年の10年間に自殺で亡くなった妊産婦は63人に上るそうです。妊産婦の自殺数についての本格的な調査結果が明らかになるのは初めてで、出産数に占める割合は10万人あたり8.5人となり、出血などによる妊産婦死亡率の約2倍に上ります。妊娠・出産期の死因として自殺が最も多いことになるそうです。

63 人の内訳は、23 人が「妊娠中」、40 人が「出産後 1 年未満」で、自殺の時期は「妊娠 2 ヶ月」と「出産後 4 ヶ月」がそれぞれ 12 人と 9 人と多いそうです。

「出産後 1 年未満」の 6 割にうつ病や統合失調症などの精神疾患の通院歴があり、うち半数が産後半年ごろまでに発症するとされる「産後うつ」でした。また、「出産後 1 年未満」の 4 割、「妊娠中」の 6 割には精神疾患での通院歴はありませんでしたが、中には育児に悩んではいても受診は拒否した人もいたとのことです。

都が集計した出産数 10 万人あたりの出血などによる妊産婦死亡率は 4.1 人で、自殺者はその約 2 倍にもなります。

出産後に自殺した人の約 3 割が産後うつだったことから、妊産婦の精神面をチェックし、産後うつになる可能性の高い人を早期に見つけたり、ケアするなどの方策が必要だと考えられます。また、妊娠・出産期の女性のメンタル面をサポートすることは、その後に続くかもしれない児童虐待の予防にもつながります。

2. 北海道における妊産婦のメンタルヘルス支援

北海道では平成 15 年度より母子保健事業において養育者支援の視点を強化し、親子関係や家庭の状況に着目した育児支援を行う地域づくりを行ってきています。その中では、乳幼児健診における母親のメンタルヘルス支援や医療機関においてエジンバラ産後うつ病調査票が導入されるようになるなど周産期からの子育て支援が強化されてきており、平成 27 年 3 月に策定された、第三期「北の大地☆子ども未来づくり北海道計画」の中でも、妊娠・出産に関する支援体制を充実させていくこととしています。

また、北海道が開設する結婚・妊娠・出産・育児総合ポータルサイト「ハグクム」には、産後うつについて掲載されています。

結婚・妊娠・出産・育児総合ポータルサイト「ハグクム」はこちらです。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/ninshin/blue.html>

このほか、思いがけない妊娠、予定外の妊娠でとまどっている方や妊娠したことを誰にも相談できず、たったひとりで悩んでいる方に、妊娠や出産に関する正しい情報を伝えたり、地域の相談窓口を紹介するページ「にんしん SOS ほっかいどう」もございますので、ご活用ください。「にんしん SOS ほっかいどう」はこちらです。

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/ninsin-sos/index.htm>

【3】お知らせ

◇ 精神保健福祉センターでは、こころの電話相談を次の時間帯で行っています。

月曜から金曜日 9:00～21:00

土曜日曜祝日(12 月 29 日～1 月 3 日を除く) 10:00～16:00

Tel:0570-064-556

※ご相談の電話が集中しますと、つながりづらい状態になりますがご了承ください。

◇ HP・携帯版 HP をご覧ください

北海道地域自殺予防情報センターの HP を開設しています。最新の北海道の状況を掲載しており、より情報を見やすく、分かりやすくお伝えできるよう心がけています。

パソコン HP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/jisatutaisaku.htm>

また、携帯電話で見ることができる携帯版 HP も開設しています。警察庁および北海道警察から公表された統計資料をもとに、北海道における自殺の状況を掲載しています。こちらも併せてご覧ください。

携帯 HP URL : <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/i/joukyou.htm>

【4】編集後記

皆様こんにちは。

5月の北海道は、前半はずいぶん肌寒い日もありましたが、中旬以降は真夏のように暖かい日もありました。気温の振れ幅の大きいところがいかに北海道の春ですね。北海道はこれから気持ちのよい初夏に入っていきます。身も心も軽々と Andante の編集に励みたいと思います。

今回の Andante は新任が担当しました。いかがでしたでしょうか。まだ不慣れですが、楽しく読んでいただける紙面を目指します。

いつもご愛読ありがとうございます。

次号 Vol.84 は、2016 年 6 月末に配信予定です。

＊お問い合わせ先＊

北海道立精神保健福祉センター

札幌市白石区本通 16 丁目北 6 番 34 号

Tel 011-864-7121

Fax 011-864-9546

URL <http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/sfc/>

Mail hofuku.seishin1@pref.hokkaido.lg.jp